

「高校教育指導課通信」では、各学校の工夫した取組等について情報提供します。第26号は福山工業高等学校です。

令和2年10月22日(木)

福山工業高等学校 <http://www.fukuyama-th.hiroshima-c.ed.jp/>

主体的な学びを促す授業づくり —コロナ禍における課題発見・解決学習の推進—

教科の専門性をいかした課題発見・解決学習

○ 新型コロナウイルス感染症防止対策をテーマとして、電子機械科の生徒が科目「課題研究」でフェイスガードを製作しました。必要なパーツの図面を作成し、レーザー加工機を使って試作品を製作しました。教員が活用し、改善点を踏まえて、生徒が改良しています。コロナ禍においても、専門的な学びが社会の中で生きて働く知識や技術として活用できるよう、実践的・体験的な学びを推進しています。この他にも建築科・機械科がそれぞれ飛沫感染を防止するための「ついたて」を作成。校内のいたるところで、工業科ならではの専門性をいかし、社会課題の解決に向けた取組を行っています。



【建築科の作品】



【機械科の作品】



計画



実行



改善



評価

【課題研究の様子】

担当の先生より

工業高校の拠点校として、県内に2校しか無い「レーザー加工機」を有効に活用したり、「足踏み式」消毒液スタンドの製作方法をWeb講義にて配信しました。他校の先生方も技術を共有することができました。



教職員や生徒のアイデアを教育活動に！！



【ICTの活用に係る校内研修】



【新型コロナウイルス対策アイデア会議】



【電子掲示板を活用した手洗いの啓発】

○ 「高校教育指導課通信」に掲載された他校のICT活用事例を参考に教員研修会を実施し、日々の授業でICTを積極的に活用するための方法について、協議しました。また、新型コロナウイルス感染症防止対策が風化しないよう、教員による対策アイデア会議を開きました。それを踏まえて生徒が協議し、生徒会中心で感染症防止に係る昼の校内放送や、電光掲示板を活用した手洗いの啓発などを実施しました。先生や生徒がアイデアを出し合い特色ある教育活動が展開されています。